弁論部門で最優秀賞受賞
第50回全国高校総合文化祭

“伝えたい”という想いを力に

2年F組　青池（あおいけ）　美依（みい）

「言い間違いをしない完璧さより、言葉に詰まっても伝え続ける気概」これは本大会で私が最も意識したことの一つです。この弁論への姿勢は本番までの努力が教えてくれました。

弁論とは自分の意見を7分間という限られた時間で伝えるという競技であり、言葉の力が試されます。独創的で飽きないテーマ・内容と、伝えたいことを明確にして話す表現力の両方が求められ、練習では大いに苦戦しました。

何度も話し方を修正し、台本の推敲を繰り返すという作業の連続で、数を重ねるほど迷走し苦しんだ当時の心情を、今でもはっきりと思い起こせるほどです。また、「完璧に話したい」という思いが先行し、言い間違いや速度、抑揚の一つひとつを意識するあまり、いつしか「何を伝えたいのか」よりも「どう話すか」に意識が向いてしまうこともありました。それでも諦めずに「伝える」ことに重きを置き続け、良い弁論を求める姿勢が最優秀賞受賞に繋がったのだと考えています。

この結果から私は、たった一人の「伝えたい」という小さな想いは万人の心に響くことがあるということを、身をもって学びました。想いは言葉となり、伝播していく。弁論だけではなく、バンド活動を通して思いを届けている人間としても大切なものを得ることができました。

最後に、指導してくださった先生方、応援してくれた家族や友人への感謝の気持ちと「伝える」ことの力の大きさを忘れず更なる成長を目指します。ありがとうございました。



総文祭宣伝にひと役

前回の秋田大会で初代生徒会実行委員長　吉田　武志（昭和57年卒）

「よくぞ頑張った」この一言であろう。周到な準備と生き生きとした高校生の活動が何よりであった。

ところで自分は思いがけぬ講演や新聞、テレビ局等の取材を受けた。報道後、数人から電話等の連絡をいただいたが、共通して言われたことは「45年前に総文祭があったことを知らなかった」ということだ。

総文祭の宣伝に一役買ったことはもちろんだが、多くの方に当時を振り返ってもらう機会となったようだ。昔話で終わらず自ら振り返り、これからも元気に生きていこうとすることにつながっていたらと思う。

考えや思いを現実に行使することで生きがいにつながると感じた。次の開催の頃にはどんな発展が見られるか。期待は膨らむ。１００歳を超えていると思うが。

「若菜会」通常総会
新会長に菊地えり子さん

若菜会は令和8年度通常総会を7月20日秋田拠点センターALVEにて開催した。

運営委員の改選が行われ、新生若菜会発足以来会長を務めてこられた高橋裕子さん（昭和31年卒）が退任、新会長に菊地えり子さん（昭和45年卒・前副会長）を選出した。高橋今日子さん（平成11年卒、東京大学客員共同研究員）が「心豊かな人生へのヒント～これまでのウェルビーイング研究の知見から」と演題で講演。

今回は一般からの参加もあり、グループディスカッションを交えて、性別や世代を超えた有意義な会となった。

（昭和52年卒　加藤史子記）



若菜会総会

家族葬の心の花
ハッピー・ライン株式会社
代表取締役　東海林大心
（平成9年卒）
［家族葬ホール］
家族葬のおうち　心の花
家族のつどい　静庵外旭川
家族のつどい　静庵牛島

人生を娯楽に
ファイオン株式会社
多言語ナレーション・動画制作
オンライン配信サポート
代表
北嶋友暁／Matirog（マティログ）
（平成9年卒）
Tel: 050-1809-5264
〒011-0911 秋田市飯島字大袋201-3
mail: info@phiomn.com
https://phiomn.com

医療法人 夢花会
ハートケアクリニックおおまち
秋田市大町の心療内科・精神科
診療時間　月 火 水 木 金 土 日/祝
9:30-12:30　● × ● ● ● ● ×
14:30-17:30　● × ♡ ● ● × ×
※♡：水曜日は14:30～18:30
院長 菊池 結花
018-853-0180
https://heartcare-omachi.jp
秋田市大町1-2-7（サン・パティオ大町）

～社会福祉法人の会計監査、M&A～
Satoru Kamiya Accounting Office
神谷了公認会計士事務所
所　長　神谷　了
（平成9年卒）
事務局長　持主 健直
（平成9年卒）
〒102-0084
東京都千代田区二番町1-2
番町ハイム313
03-6205-6467